

ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅



トイレ入口

国内最大の国際展示場最寄り駅である「東京ビッグサイト駅」では、設備の更新や動線の改善を目的としてリニューアル工事を実施。トイレは、改札からすぐにわかりやすく、大きなサインを掲示している。

男性トイレ
洗面・小便器コーナー

水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器に、自動水栓を採用。さらに、荷物配慮として洗面器の間にフックを設けている。手洗器および入口側の小便器には、さまざまな利用者に配慮した手すりを設置している。



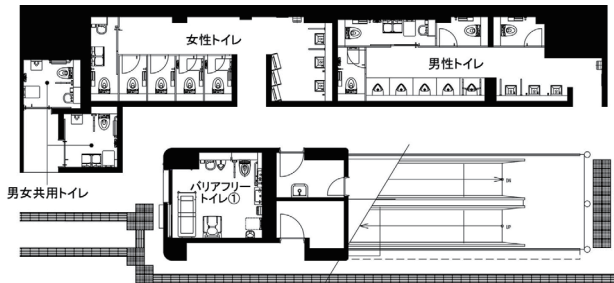
男性トイレ 広めのブース

バリアフリートイレへの利用集中を緩和するため、男女別トイレ内に、それぞれベビーカーゴと入れる広めのブースを用意。さらに、オストメイトにも配慮して、コンパクトオストメイトパックも設置している。



トイレ図面

男性・女性トイレ、男女共用トイレ、バリアフリートイレと、多様な利用者が使いたいトイレを選択できるように、トイレ全体で機能をバランスよく分散している。



水まわりの特長

改修の経緯

ゆりかもめ「東京ビッグサイト駅」は、1995(平成7)年に「国際展示場正門駅」として開業。日本最大の国際展示場である東京ビッグサイトの最寄り駅で、イベント開催時には、特に多くの乗降客が利用する。今回、開業後30年近く経過し、老朽化した駅のリニューアル工事を2023(令和5)年から開始。エスカレーターの耐震工事や混雑時の利用者の動線集中を緩和するための大規模な構造変更を実施した。トイレに関しては、2006(平成18)年にトイレ改修工事を実施しているが、約17年が経過し「配管などを含めた設備の老朽化」「和式トイレが一部残っている」「イベント時には特にトイレが混雑している」「バリアフリーの考え方が変化してきた」などの課題を解決するため、同時に大幅なリニューアル工事が行われた。

トイレの特長

トイレへの課題解消を主眼とし、今回の改修では、現在のバリアフリーガイドラインに準拠し、トイレの機能分散を図ることで、利用者の選択肢を増やしている。バリアフリートイレは、左右勝手違いで2ヶ所設置、どちらも直径1800mm以上の内接スペースを確保。男女別トイレにも、オストメイト・乳幼児連れに配慮された広めのブースを設置。さらに性別を問わず使用できる広めの男女共用トイレを2ヶ所新設した。この男女共用トイレは、介助が必要な高齢者や障がい者とその保護者や、トランスジェンダーなどの性的マイノリティ、乳幼児連れへの配慮に加え、大きい荷物を持っている人や男女別トイレの混雑時にも使用できるなど、多様な人がだれでも気兼ねなく利用できるように配慮されている。

建築概要

名称	ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅
所在地	東京都江東区有明3-6-15
施主	株式会社ゆりかもめ
設計	後藤建築事務所株式会社
施工	株式会社 シミズ・ビルライフケア
竣工年月	(改修)2025年3月
敷地面積	3,680.00㎡
建築面積	327.42㎡
延床面積	763.70㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階

おもなTOTO使用機器

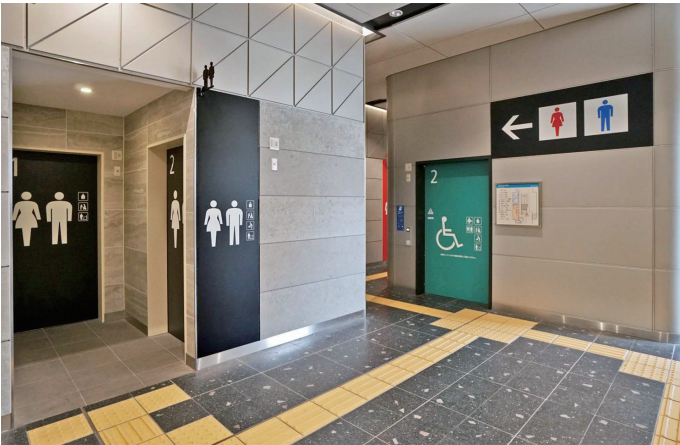
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS2BN
ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF584AUP系
スベア付き紙巻器:YH163 L/R S/自動洗浄小便器:UFS900JCS
壁掛ハイバック洗面器:LSA125FB/クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC430WJ
コンパクトバリアフリートイレパック:UADAK21L1A1ADD2BA、
UADBKD1R1A1ADD2BA/コンパクトオストメイトパック:UAS81RDB2NW
パブリック折りたたみシート:EWC500RS/ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R

女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

洗面コーナーには、風の吹き返しや水滴の飛散を抑制する吸引式のクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置。スタイリングコーナーは、隣人を気にせずに使用できるように、斜めに雁行型のレイアウトとしている。

女性トイレ
大便器ブース

大便器は、床の清掃性に優れ、混雑緩和に寄与する連続洗浄が可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。ユニバーサルデザインに配慮し、すべてのブースに手すりを設けている。



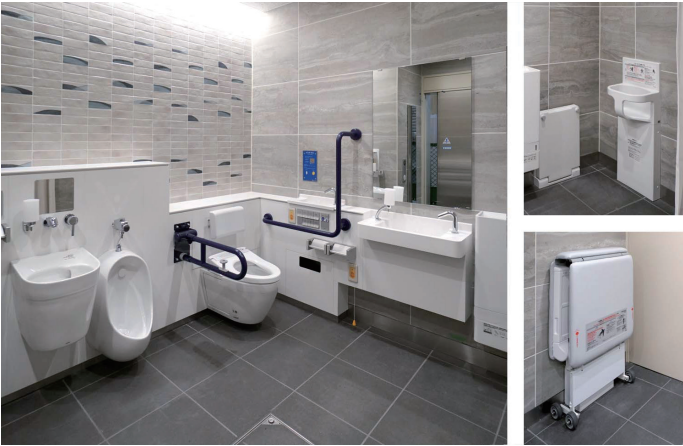
男女共用トイレ 入口

今回の改修で、バリアフリートイレとは別に、性別を問わず、だれでも気兼ねなく使用できる男女共用トイレを2ヶ所新設。入口には、利用対象者や内部の設備がひと目でわかるサインを掲示している。



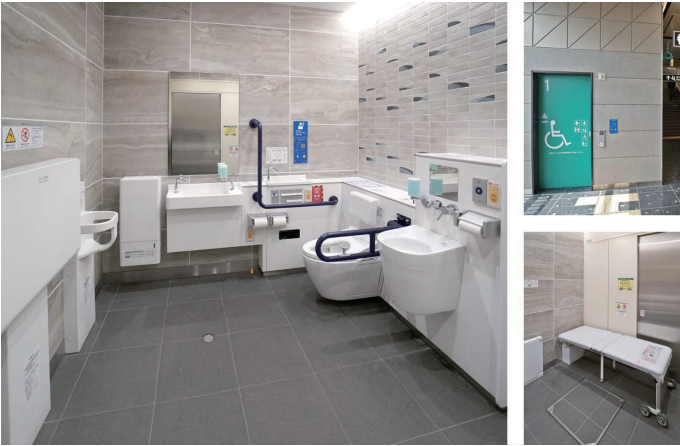
男女共用トイレ

それぞれに機能を持たせて、2ヶ所設置された男女共用トイレは、左右勝手違いで、オストメイトに配慮したブースと、乳幼児連れに配慮したブースを用意されている。



バリアフリートイレ①

バリアフリートイレは2ヶ所。その①は、車いす使用者やオストメイトに加え、乳幼児連れにも配慮。特に大型ベッドや介助者とのプライバシーを確保するカーテンが設置されるなど、きめ細やかな配慮がなされている。



バリアフリートイレ②

バリアフリートイレ②は、①と同様、必要な器具がパッケージされたコンパクト・バリアフリーイレパックを設置。また、それぞれのバリアフリートイレは左右勝手違いで配置されている。